

## フィールドワーク きほんのき



8月21日(火)午前中はフィールドワークを行います。フィールドワーク(FW)は遠足ではなく、学習・研究です。「フィールド(現場・地域)」にご協力をいただきながら、自分の目で現状を見つめ、自分の足で課題を探究する「ワーク(作業)」です。また、街中をうろろしていれば、住民や観光客に、何をしているのだろう?と不思議に思われることもあります。もしも何をしているのか質問された時には、自分が誰で、今ここで何をしているのか、を説明して下さい。地域の方々との出会いは、新たな学びのきっかけにもなります。

### ■ フィールドワークとは??

人文社会学系から自然科学系まで、様々な学問分野で導入されており、形式もひとつではありません。今回のまち歩きのように単発のものから、何度も現場を訪れ、長期的に関わっていくものまで様々です。なぜフィールドワークを行うのか?と言えば、自分の目や耳を使って調べ上げていく「第一次情報」、つまりはそこに行かなければ得られない、最新の情報や経験を自分のものにするためです。

### ■ フィールドワークによって得られるデータ

フィールドワークによって得られるデータ(情報)には次の2種類があります。

- ① **質的データ** インタビューや雑誌、新聞、映像等による文字情報や非言語情報が中心のデータ
- ② **量的データ** 質問紙(アンケート)や統計資料によって得られる数値情報が中心のデータ

こうした情報を得るためには参与観察やインタビュー、質問紙調査などの技法があり、また情報を整理するための技法としてSWOT分析やKJ法、データコーディングなどの技法があります。大人数で、情報を整理しながら共有する方法として、ワークショップやワールドカフェなど、いくつかの技法が用いられます。

### ■ フィールドワークを行うための約束事

今回のフィールドワークをスムーズに行うために、あらかじめお願いしたいことがあります。

#### 1. 地域の方に尋ねられたら・・・

まずは自己紹介をして、何の目的で何をしているかを自分で説明しましょう。

例「〇〇大学・短大・高専の学生です。地域の課題Iという授業の一環でフィールドワークをしています。

定禅寺通がテーマなので、〇〇や〇〇などに注目して調べています。」

#### 2. 地域の方に声を掛ける時には・・・

この授業では、防犯の関係から、歩道上の通行人や観光客などへの声掛けはNGとします。なお、店舗の経営者等に対してインタビューが必要な場合は、必ず調査計画書に記入して、教員の許可を得てから実施してください。なおインタビュー対象者も工作中であることを配慮しましょう。

想定していないことを質問された場合には、適当な返事をせず「それについては教員に確認してからご連絡します。」と丁寧に受け答えをするようにしましょう。

#### 3. 歩きやすい服装・歩きやすい靴で

今回は2・3時間程度まちを歩くので、ハイヒールやサンダルではなく、疲れにくいスニーカーなどがおすすめです。また、FW中にしゃがんだりするかもしれません。極端なミニスカートやローライズのズボンは避けましょう。

#### 4. ひとりでなく、必ず二人以上で行動する

普段の観光や散歩ではなく、授業の一環で実施していることを忘れずに、フィールドワーク中は**最低でも二人一組で行動**してください。またフィールドワーク中に事件や事故が無いとは限りません。万が一事件や事故に巻き込まれた場合には、落ち着いて周囲に助けを呼び、可能な限り教員の緊急連絡先に電話をしてください。

#### 5. 交通マナーに注意！

一般道を歩くので、広がると他の方の通行に支障がでます。横断歩道以外での横断は危険です。チーム全員で歩く場合は、歩道全体に広がらないよう気を付けて下さい。また道の途中で立ち止まる時は、全員が話を聞けるようにコンパクトにまとまりましょう。

#### 6. 休憩や水分補給はこまめに！それでも具合が悪くなった時には教員に連絡を

自動販売機やコンビニエンスストア、公共施設などを利用し、途中で休憩や水分補給を取りましょう。万が一、具合が悪くなった時は無理をせず、すみやかに教員の緊急連絡先に電話をして伝えて下さい。

#### 7. 時間厳守！欠席の際は必ず連絡を！

集合時間に遅れると、他の参加者やチームメンバーに迷惑がかかります。時間に余裕をもって行動し、必ず時間を守りましょう。また、事前連絡なしで休むとチームメンバーにも大きな支障が出ます。前日または当日でも**欠席**が分かった時点でメール（[jimu@miyagi-coc.jp](mailto:jimu@miyagi-coc.jp)）で連絡してください。

### ■ 「地域の課題 I」フィールドワークの目的

この授業では、仮説検証や裏付けの確認などを目的にフィールドワークを行います。詳しい内容は、8月 20日(月)の授業の中で、チーム毎にフィールドワークの調査計画書を作成します。当日は計画書に沿って行動することになります。

### ■ 「地域の課題 I」フィールドワークでのオススメの持ち物

この授業で初めてフィールドワークをする方もいるかもしれません。スムーズにフィールドワークを行うために、オススメの持ち物を紹介します。

- ・ 調査計画書…行き当たりばったりの行動はフィールドワークではありません。チームで調査計画書を共有して、必要な調査を分担し、協力して、効率よく実施しましょう
- ・ カメラ…景観を撮影するだけでなく、看板や案内板などを撮影することで必要な情報を記録できます  
※なお、撮影の際に通行人や店舗等が写り込む場合にはプライバシーに十分に注意してください
- ・ クリップボード(バインダー、用箋ばさみ)…歩きながらメモを取る時に便利です
- ・ 筆記用具…複数色のペンや蛍光ペンなどを用意すると、情報毎に分けて記録することができます
- ・ フィールド地図…複数枚用意することで、必要な情報を分けて記入することができます

その他、天候にあわせて帽子や靴、日傘、飲み物等、服装や持ち物を自分で考えて持参してください。

【不明点等の問合せ先】 地域協働教育推進機構

E-mail [j i m u @ m i y a g i - c o c . j p](mailto:jimu@miyagi-coc.jp) 電話 022-264-6328 (平日 9時から 17時まで)

WEB サイト <http://miyagi-coc.jp/>